
地域の特性を活かした 地産地消の分散型エネルギーシステム構築 ガイドブックのご案内

令和2年1月29日
分散型エネルギープラットフォーム（第2回）参考資料
経済産業省 資源エネルギー庁

ガイドブックのHP掲載について

- 一般社団法人 低炭素投資促進機構のWEBサイトにて掲載中！

地産地消促進事業のTOPページ

http://www.teitanso.or.jp/sc_top

「地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業」

**平成30年度
地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金
(分散型エネルギーシステム構築支援事業)**

新着情報

- ▶ 2019.4.11 「平成30年度 地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金 (分散型エネルギーシステム構築支援事業)」は終了しました。
平成30年度までに終了した補助事業の事務手続きは引き続き当機構で行います。
- ▶ 2019.3.29 【平成30年度 地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金】(分散型エネルギーシステム構築支援事業のうちエネルギーシステム構築事業)
採択事業の概要について、その要約版・詳細版を掲載しました。
内容はこちら
- ▶ 2019.3.29 【平成30年度 地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金】(分散型エネルギーシステム構築支援事業のうち構想普及支援事業)
成果報告書の要約版を掲載しました。
内容はこちら
- ▶ 2019.3.29 「地域の特性を活かした地産地消の分散型エネルギーシステム構築ガイドブック」のご案内
分散型エネルギーシステムの更なる普及に向けて事業の計画段階に重点を置き、事業実施にいたるまでの考慮すべき事項をガイドブックとしてまとめました。また、太陽光に関してはいくつかのパラメータを入力すると収支計算ができる簡易ツールを評価版として準備しております。分散型エネルギーシステムの構築を検討されている皆様の一助になれば幸いです。
それぞれ別ファイルとなっております。必要な資料をダウンロードしてご活用ください。
1. 「地域の特性を活かした地産地消の分散型エネルギーシステム構築ガイドブックサマリー」(PDF)
2. 「地域の特性を活かした地産地消の分散型エネルギーシステム構築ガイドブック」
part1-2(PDF) part3(PDF) part4-8(PDF)
3. 「分散型エネルギーシステム簡易収支計算ツール_β版」(Excel)
「個別利用_入力例_分散型エネルギーシステムの簡易収支計算ツール_β版」(Excel)
「面的利用_入力例_分散型エネルギーシステムの簡易収支計算ツール_β版」(Excel)
4. 「分散型エネルギーシステム簡易収支計算ツールマニュアル」(PDF)

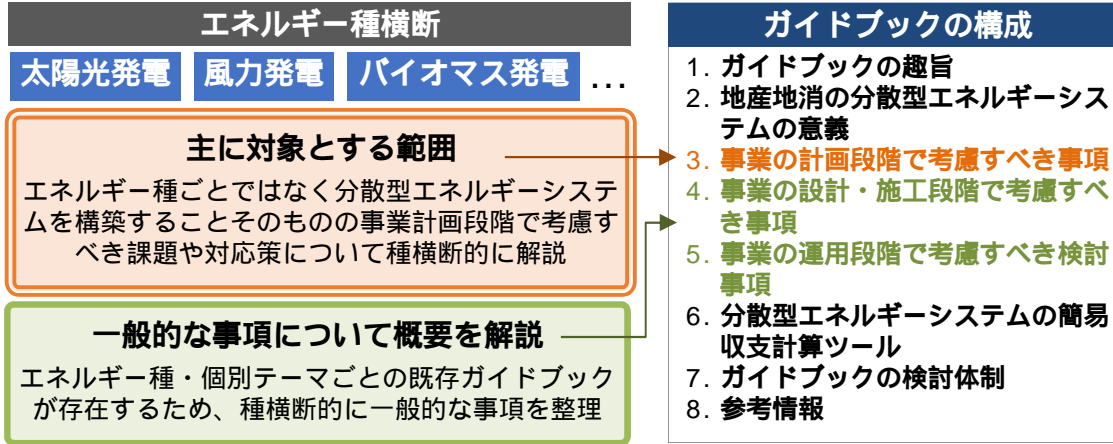
2019.3.29の新着情報

地域の特徴を活かした地産地消の分散型エネルギーシステム構築ガイドブック 概要

- 分散型エネルギーシステムの構築の計画時に必要な検討事項に焦点を当てて解説。分散型エネルギーシステムの意義、構築する目的、エネルギー供給の仕組み、事業化のためのキーポイント等を紹介。さらに、連携が必要となるステークホルダーとの協力・調整事項をエネルギー種横断的に整理。

主な対象範囲

- 事業の計画段階を中心に、エネルギー種横断的にエネルギー特性等を解説



課題と成功要因

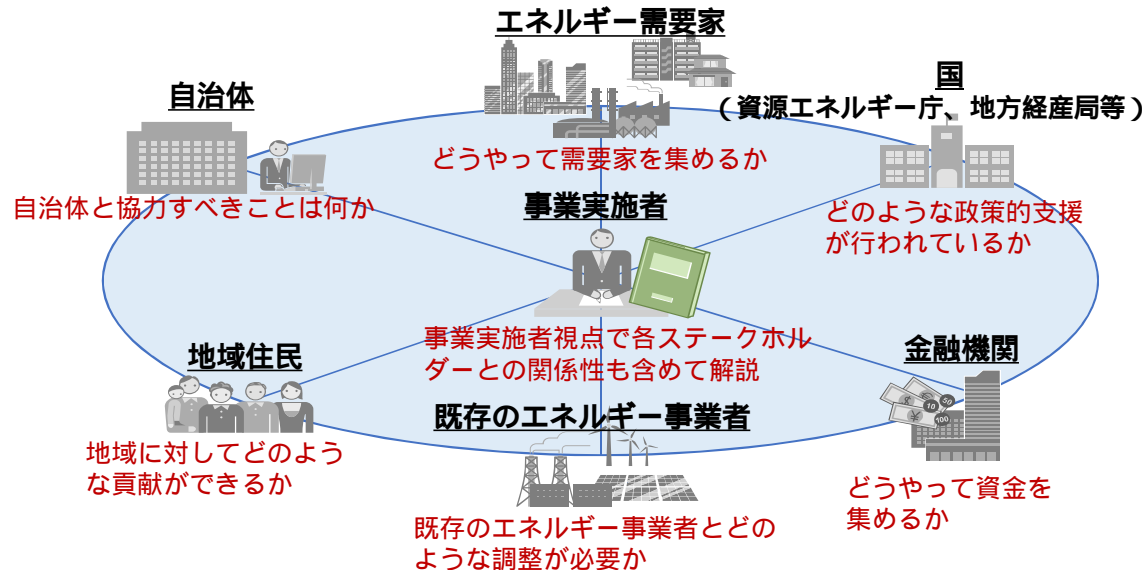
- 事業の計画段階で考慮すべき事項を整理

例) 分散型エネルギーシステムの意義に関する事項

省エネ・省CO2	地方創生	災害対応
設備の高効率化	住民サービスの質の向上	設備の稼働に必要な資源の確保
再生可能エネルギーの活用	産業育成	供給先・供給設備の優先順位
エネルギーマネジメント	人口減少対策	非常時需要量と平時設備容量とのバランス
エネルギー自給率の向上	地域特性の有効活用	(特に電力の場合)系統との接続方法 非常時のエネルギーマネジメント

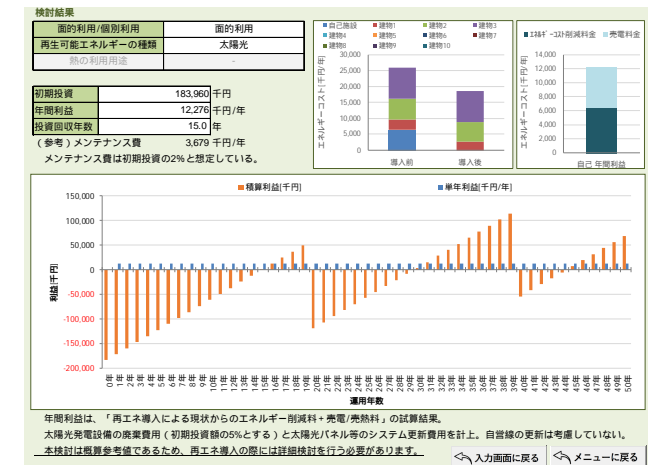
ガイドブックの対象者

- 構築する際に誰と何を議論すれば良いのか、ステークホルダーとの協力・調整事項を整理



簡易収支計算ツール

- ツールにより、分散型エネルギーシステムの経済性(導入前後のエネルギーコスト、投資回収年数等)が簡易的に評価可能



計画時に必要な検討事項の項目紹介

- 検討したい内容ごとに、具体的な検討内容を紹介。

検討したい内容	具体的な検討項目			
分散型エネルギーシステムを構築する意義を知りたい	省エネ・省CO2	地方創生		災害対応
	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー消費量、CO2排出量の削減に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域経済への貢献、雇用の創出 ● 観光資源としての活用 		<ul style="list-style-type: none"> ● 災害等非常時におけるエネルギー供給源の確保 ● 地域・需要家のBCP、LCPへの貢献
エネルギー供給の仕組みを検討したい	エネルギー源	エネルギーインフラ		エネルギーマネジメント
	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー源の種類と特徴 ● 各エネルギー源における事業化上の課題・リスク 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存インフラの活用 ● 自営線、熱導管の新規設置 		<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー需給調整 ● 見える化による需要家の省エネ・省CO2
事業化する上でのキーポイントを知りたい	自治体との連携	持続的事業実施体制の確立	需要家の確保	エネルギー供給以外の付加価値
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体の協力が必要な事項 ● 自治体との連携方法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関連するステークホルダーの種類と役割 ● 参加主体のコミットメントを高める方法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 需要家を集める方法（囲い込み方、契約条件の厳しさ） ● メリットの訴求方法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 想定される付加価値の種類 ● 事業化への貢献
事業を行う場所の条件・特性を把握したい	都市 / 地方		需要施設	地域資源
	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市部における特徴と課題 ● 地方における特徴と課題 		<ul style="list-style-type: none"> ● 需要施設、需要量の把握 ● 需要施設の用途に応じた特性（時刻別の需要量など） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活用可能な地域資源の把握 ● 地域資源を活用するために必要な検討事項
事業の経済性を評価したい	資金調達		コストと事業性	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 資金調達方法の種類と特徴 ● 資金調達方法ごとに必要な検討事項 		<ul style="list-style-type: none"> ● 事業化までに必要なコスト ● 事業収支の考え方 	